

進路通信

5月21日

学部・学問情報

◆日本文学…文学を通して、日本を知る

【学問の内容】

日本で生まれた物語や短歌、小説や詩、戯曲などの文学作品を通して、人間精神の働きを研究するのが日本文学です。作家の経歴や作品成立の時代背景、作者自身のものの見方や考え方を研究し、人間と人間社会の本質を考えしていきます。

日本の文学作品は、長い歴史の中で築き上げられてきた貴重な文化遺産です。いろいろな時代の作品と作家に触れることにより、作品に表現された人々の心の動きや生き方、そして社会をとらえていくのです。日本文学を学ぶ際には、ただ作品を読むだけでなく、日本語の音韻・文法・語彙などについての研究も行っていきます。また、より深い研究へ進んでいく場合には、日本人の精神構造、国民性、民族性なども併せて学んでいきます。さらに最近では、外国人から見た日本語という視点での日本語研究、日本文学と外国の文学を比較しながら研究を進める比較文学も注目を集めています。つまり、これからの日本文学には、哲学、史学、社会学、心理学などの学問を含めた幅広い研究が求められてくるのです。

【卒業後の進路】

出版社、マスコミ関係への就職希望者が多いが、競争率が高いため就職できる割合は低い。また、専門を生かして中学・高校の国語科教員、学芸員、司書、日本語教員をめざす人も多いが、こちらも狭き門となっている。実際には一般企業に就職する人、公務員になる人などがほとんどで、そのほかの就職先は多岐にわたっている。

◆外国文学…外国の文学を通して、その国や地域を知る

【学問の内容】

外国文学では、諸外国で使われている言語で書かれた文学作品の研究や、その作品が成立した地域的・時代的背景などを含めた全体的な研究を行います。作家の経歴や作品成立の時代背景、作者自身のものの見方や考え方を追っていくなかで、想像力を働かせながら作中人物の心の動きを読み取り、そこから人間の本質を把握していく学問です。

世界で使用されている言語はたくさんありますが、現在、大学で研究が盛んに行われているのは、英米文学、ドイツ文学、フランス文学、中国文学などです。対象となるジャンルは小説だけでなく、詩、演劇、評論など多彩です。

どのような外国文学でも、その作品が書かれている言語の習得がかぎとなります。例えば、英米文学の評論分野を学ぶのなら、時事英語やビジネス英語など、必要な語学の勉強も併せて行うこととなります。また、その国の地域の文化・思想・生活習慣などの知識は、作品の書かれた背景などを知るうえでも欠かせません。

【卒業後の進路】

中学・高校の英語科教員などをめざす人が多い。教員採用数は少しずつ増えてきているものの、依然として狭き門となっている。一般企業では、語学力を生かして、旅行会社、マスコミ、語学学校などへの志望者が多い。また、公務員をめざす人も少なくない。最近では、言語能力を生かして外資系の企業に就職する人もいる。